

▶大山を背景に写真撮影する
ミヤクミヤク



10/24
(木)

ミヤクミヤク 伯耆町で撮影

来年開催される大阪・関西万博の公式キャラクターターミヤクミヤクが10月24日(木)、開幕カウントダウン画像の撮影のため、大山まきばみるくの里と植田正治写真美術館を訪れました。ミヤクミヤクはカウントダウンボードを持ちながら、両腕を広げたり手を振ったりして撮影。日本国際博覧会協会の栗本課長代理は「大山がすごくきれいで良い町だなと思いました。来年は、ぜひ大阪に遊びに来てください。」と話しました。撮影した画像は、来年1月中旬ごろに万博の公式ホームページに掲載予定です。

▶晴天のなかゴルフを楽しむ選手たち



10/21
(月)

ねんりんピック ゴルフ交流大会

大山ゴルフクラブにて10月21日(月)、ねんりんピック「ゴルフ交流大会」が開催されました。この大会は、60歳以上の人を中心とするスポーツ・文化・健康・福祉などの総合的な祭典であり、全国各地から選手たちが集まりました。当日は、交歓会や健康教室も行われ、競技以外にもさまざまな交流やイベントを楽しみました。参加した選手は、「景色は良いし申し分ないけれど、グリーンに悩まされた。」と競技の難しさを語りながらも笑顔でラウンドを終えました。

▶大和ハウス工業株式会社と
丸山生産森林組合が認定証を授与



10/31
(木)

自然共生サイト 認定賞授与式

「ロイヤルシティ大山リゾート大成池周辺区域」が、環境省の定める「自然共生サイト」に認定されたことを受け、10月31日(木)に農村環境改善センターにて認定書の授与式が行われました。自然共生サイトに認定されるのは町内初めてであり、大和ハウス株式会社の郷原さんは「これからも活動を継続していきたい。」と話しました。

▶初めての「救給カレー」を味わう
児童たち



10/30
(水)

初めての非常食給食

10月30日(水)、伯耆町内の小・中学校で防災への意識を高めるための非常食給食が実施されました。給食センターでは、非常食の「救給カレー」が約1,000食分備蓄されています。防災給食を体験した二部小学校の児童たちは「美味しかった。また食べた！」と感想を述べ、給食センターの福井先生は「初めて食べる子ばかりで心配でしたが、美味しいと言ってくれて安心しました。」と話しました。